

伊豆市の

令和8年度

わかりやすい予算書



総合政策部 企画財政課

..... [目次]

01

予算の基礎知識

02

伊豆市の
当初予算について

03

歳入予算について

04

歳出予算について

05

主要事業について

..... 予算の基礎知識

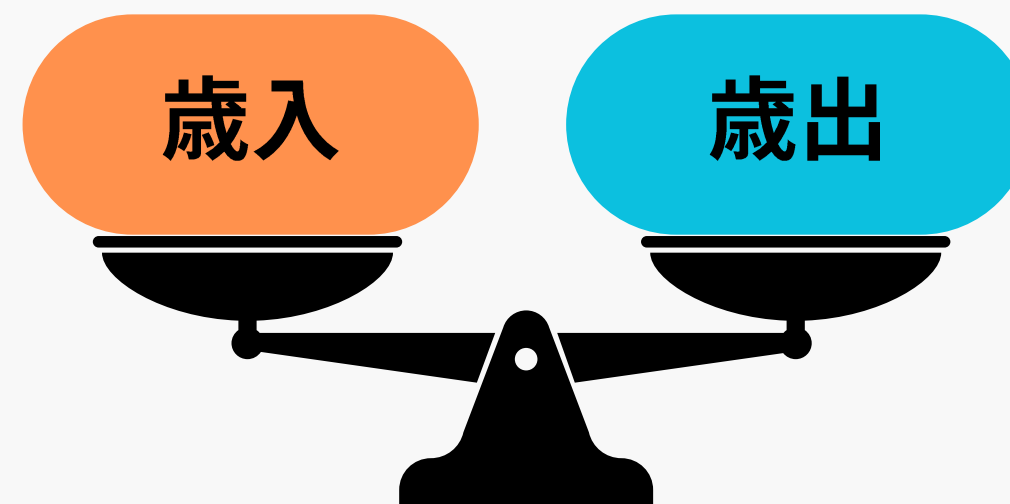
Q 予算って何？

A 市の1年間の収入と支出の見積りのことです。

市では、福祉、教育、道路の整備など、様々な事業をしていますが、どのような事業にいくらお金を使うかをあらかじめ決めておく必要があります。

そこで、市が4月1日から翌年3月31日までの1年間に入ってくるお金を見積り、そのお金の範囲内で使い道を計画したものが「**予算**」になります。

予算書では、伊豆市に入ってくるお金を「**歳入**」使うお金のことを「**歳出**」と呼んでいます。

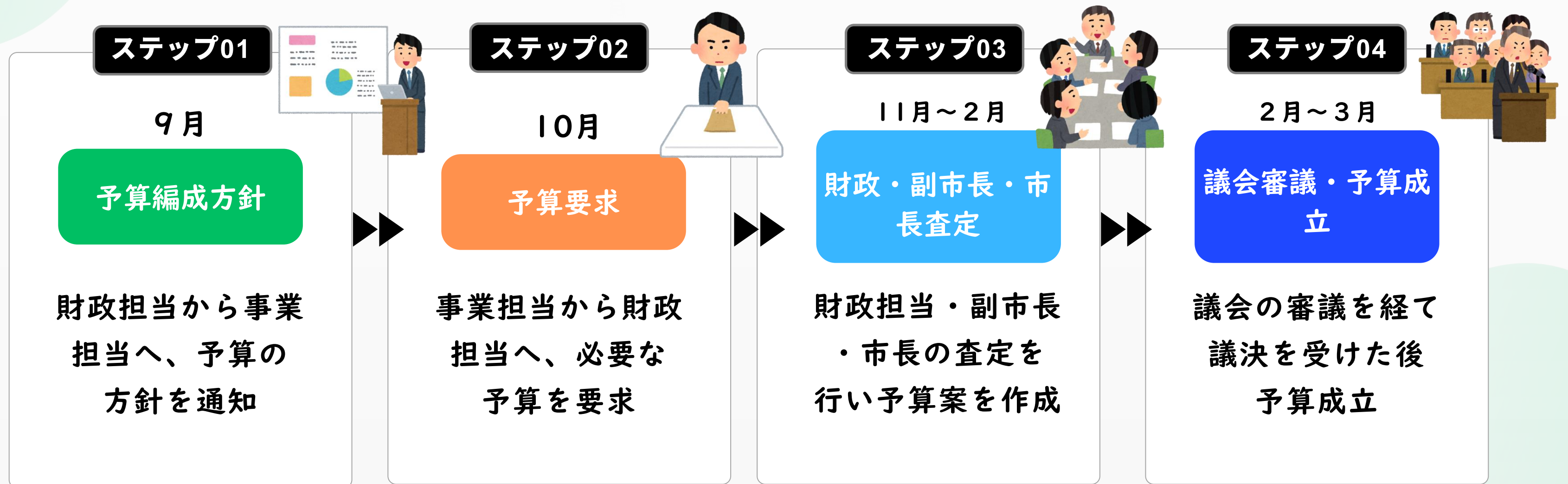


予算は必ず
歳入 = 歳出
になります。

予算の基礎知識

Q 予算はどうやって決まるの？

A 次のような流れで予算は決まります。



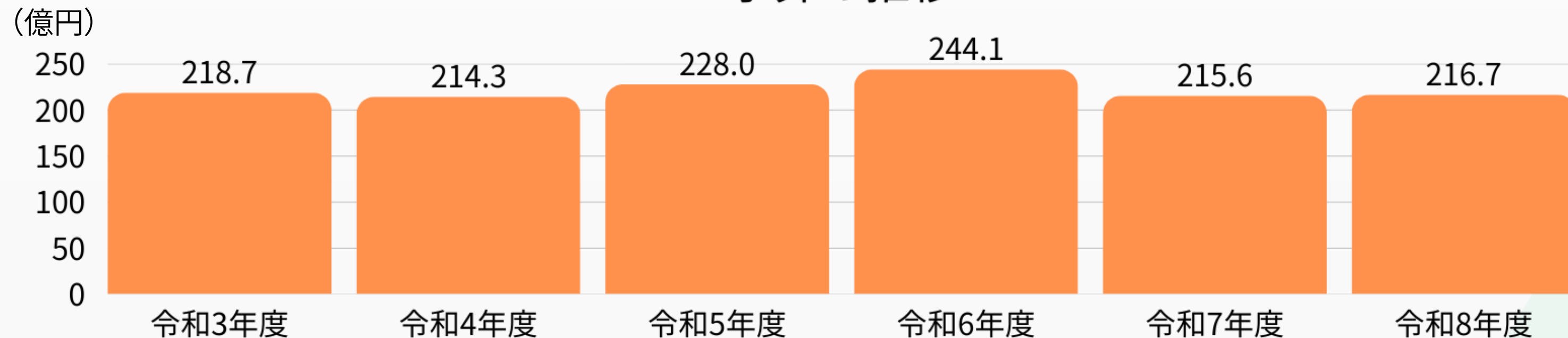
災害など、不測の事態が生じた場合は、「**補正予算**」を作り、議会で議決を受けることで予算を変更することができます。

伊豆市の当初予算について

Q 令和8年度の予算はいくら？

A 令和8年度の予算額は**216億6,900万円**で、前年度から1億700万円、0.5%の増となりました。

予算の推移



これまで進めてきた危機管理センターの整備などが完了しましたが、人件費などが増加したことにより予算額は昨年度と同規模になりました。

歳入予算について

Q どのような歳入があるの？

A 市民の皆様からいただく市税や、国や県からの補助金などがあります。

項目	説明	令和8年度予算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	93億2,100万円	+4億6,700万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	42億3,800万円	+100万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	15億1,300万円	▲200万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	23億8,000万円	+4億5,300万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	11億9,000万円	+1,500万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	123億4,800万円	▲3億6,000万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	33億3,000万円	▲2億9,300万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	62億5,000万円	+1億8,700万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	12億9,800万円	▲3億1,200万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	14億7,000万円	+5,800万円
合 計		216億6,900万円	+1億700万円



ポイント！

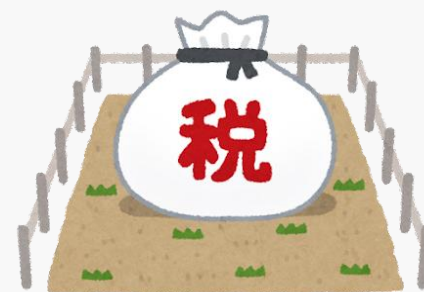
危機管理センター整備やひなた公園整備などの大型事業の完了により、市債の額が大きく減少しました。自主財源が多いほど財政が安定し自由に使えるお金が多くなるため、ふるさと納税のさらなる増加や移住定住の促進など、自主財源の確保に取り組んでいます。

歳入予算について

Q 市税にはどのようなものがあるの？

A 伊豆市には、以下のとおり6種類の市税があります。

名 前	説 明	令和8年度予算額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	13億6,000万円	+4,000万円
法人市民税	伊豆市内の会社などが収益などに応じて納める税です。	1億5,600万円	▲2,800万円
固定資産税	伊豆市内に土地や建物などを持っている方が納める税です。	22億3,900万円	+1,000万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	1億1,700万円	▲500万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	2億2,300万円	▲1,800万円
入湯税	温泉を使った入浴施設を利用した方が納める税です。	1億2,200万円	+400万円

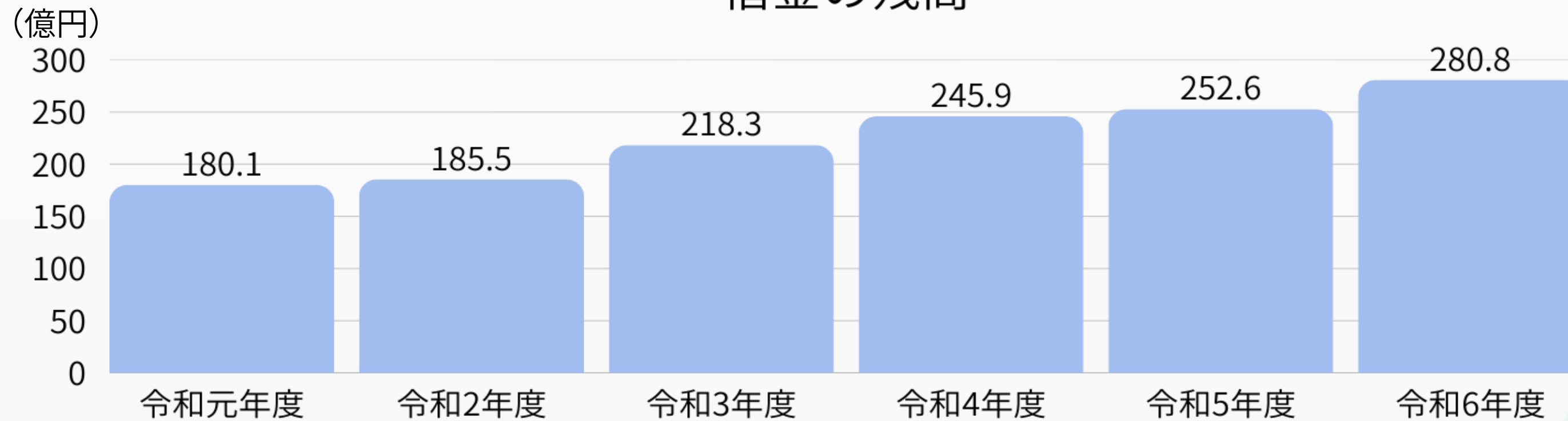


歳入予算について

Q 伊豆市にはどれくらい借金があるの？

A 伊豆市の借金は大型事業の影響により増加傾向となっており、令和6年度末の借金の残高は約280億7,800万円となりました。

借金の残高



伊豆市はたくさん借金してるけど、こんなに借金しても大丈夫なの？

借金の種類によっては、返済するお金の一部が地方交付税として国から交付されます。

伊豆市では、このような有利な借金を使うようにして将来の負担をなるべく少なくするようにしています。

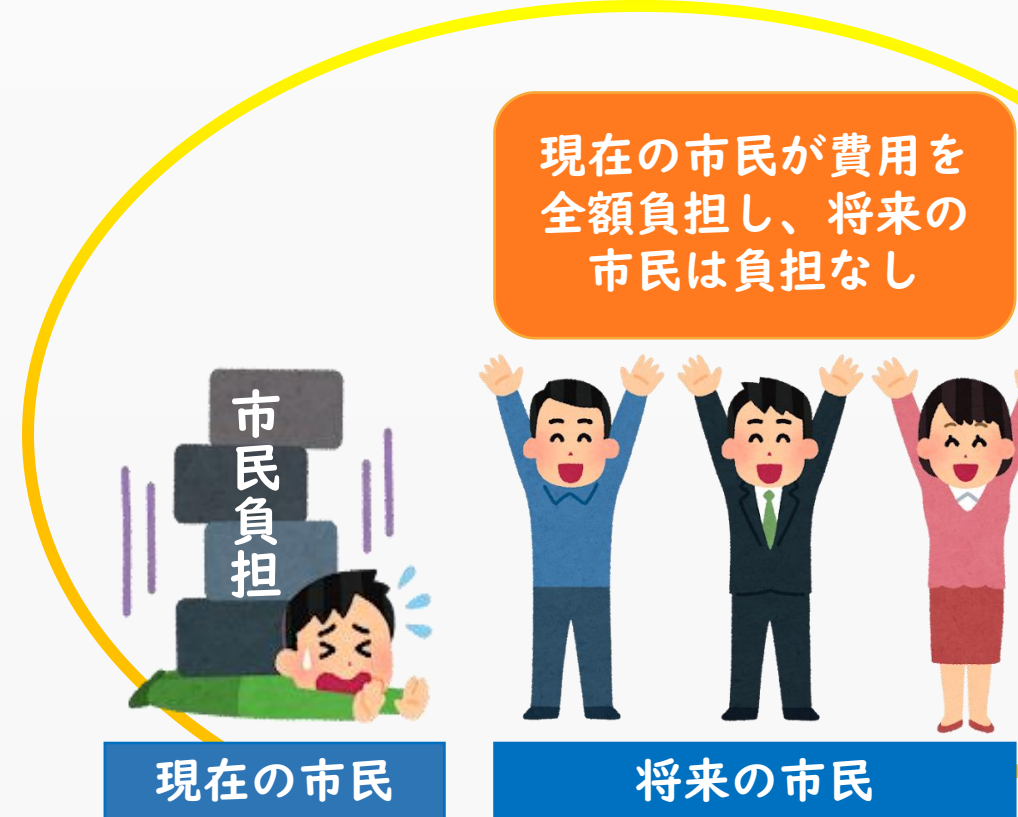


歳入予算について

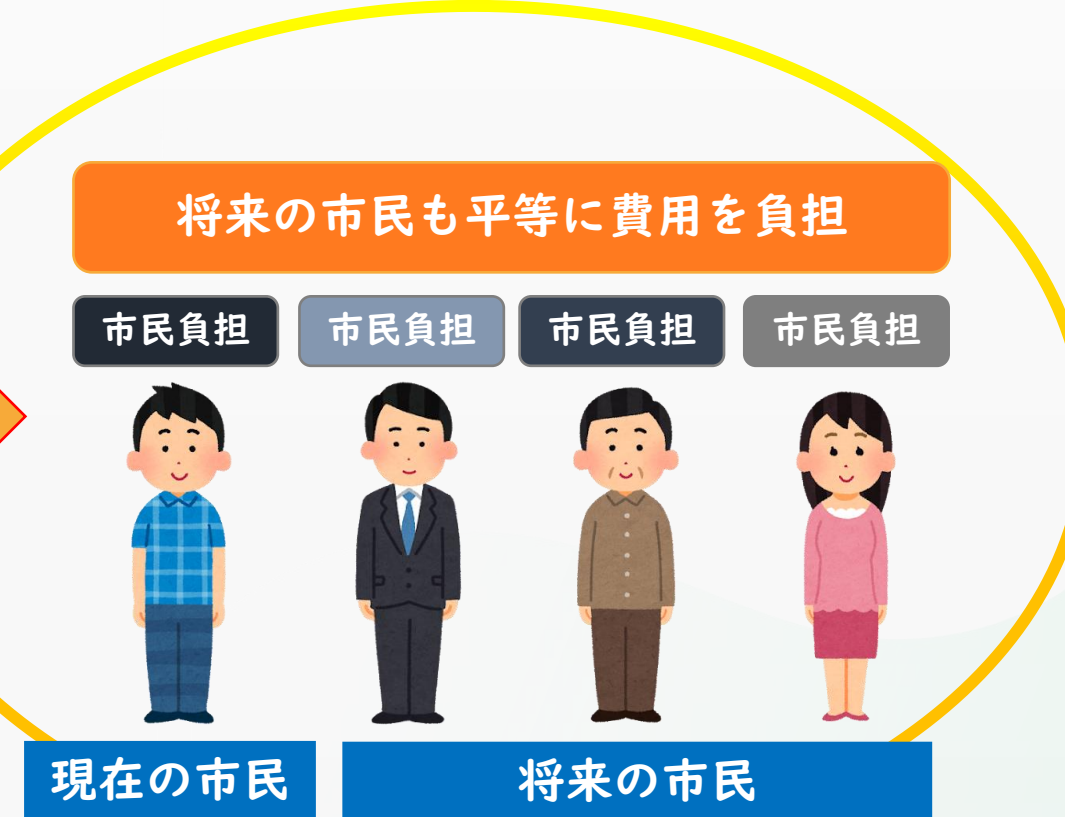
Q なぜ借金をするの？

A 道路や公園、学校などの長期間にわたって利用する施設を建設する際に借金をしなかった場合、施設を整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間で不公平が生じてしまうことから、将来の世代にも負担を分配し、世代間の負担を公平にするため、借金をして事業を行っています。

借金をしなかった場合



借金をした場合



歳出予算について

Q どのように使われるの？

A 令和8年度の予算は次のように使われます。

<p>議会の運営に 0.6%</p>  <p>議会費 1億3,100万円</p>	<p>市役所の運営などに 17.6%</p>  <p>総務費 38億1,100万円</p>	<p>児童・高齢者福祉などに 25.4%</p>  <p>民生費 55億600万円</p>	<p>医療やごみ処理などに 8.3%</p>  <p>衛生費 18億700万円</p>
<p>雇用拡大の施策などに 0.1%</p>  <p>労働費 1,500万円</p>	<p>農林業の振興などに 2.7%</p>  <p>農林水産業費 5億9,000万円</p>	<p>産業や観光の振興などに 3.7%</p>  <p>商工費 7億9,800万円</p>	<p>道路や公園などの整備に 8.5%</p>  <p>土木費 18億4,300万円</p>
<p>消防活動や防災などに 4.6%</p>  <p>消防費 9億9,400万円</p>	<p>学校教育などに 11.7%</p>  <p>教育費 25億2,900万円</p>	<p>借金の返済に 11.7%</p>  <p>公債費 25億4,000万円</p>	<p>貯金の積立てなどに 5.1%</p>  <p>その他 11億300万円</p>

歳出予算について

項目	説明	令和8年度予算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	88億1,300万円	+6億2,700万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	35億1,000万円	+1億7,200万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	27億6,300万円	+1億6,100万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	25億4,000万円	+2億9,400万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	21億8,300万円	▲5億4,000万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	106億7,300万円	+2,000万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	40億4,800万円	▲2億4,200万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	6,900万円	+100万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	36億5,800万円	+1億6,700万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	10億7,400万円	+1,400万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	17億9,400万円	+8,000万円
予備費	緊急に必要となる場合に備えて用意している経費です。	3,000万円	0万円
合 計		216億6,900万円	+1億700万円



ポイント!

危機管理センター整備やひなた公園整備などの大型事業の完了により、投資的経費の額が大きく減少しました。
一方で、令和4年度に借りた借金の返済が開始するため、公債費が増加しています。

主要事業について

Q 令和8年度の伊豆市の主要事業は何があるの？

A 今後も魅力ある「伊豆市」として成長していくため、歴史・文化・市民の生命等を大切に守ると同時に、時代の変化に柔軟に対応できるまちを目指すための事業を行います。

「守りながら変わり続ける」伊豆市プロジェクト

守る

- ◆ひなた公園・危機管理センター管理事業 5,713万円
- ◆耐震改修促進事業 6,901万円
- ◆サイクルブランド向上事業 1,426万円

変わる

- ◆デジタルアーカイブ導入事業 600万円
- ◆新たな観光振興財源検討事業 866万円
- ◆みんなの夢★応援補助金 300万円
- ◆中伊豆小学校移転整備事業 9億3,140万円
- ◆修善寺地区小学校再編検討事業 2,992万円
- ◆移住定住促進事業 7,855万円

主要事業について

物価高騰対策事業

エネルギー・食料品などの物価高騰の影響を受ける市民等に対し支援事業を実施します。

1.消費下支え等を通じた生活者支援

- ・ 給付型商品券（いずっち券）
発行事業 2億9,209万円



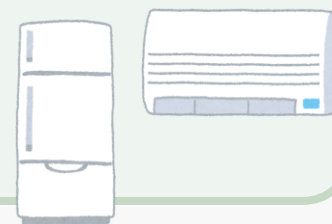
2.物価高騰に伴う子育て世帯支援

- ・ 学生生活応援事業 600万円
- ・ 小中学校給食費負担軽減事業
2,286千円



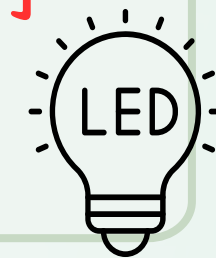
3.省エネ家電等への買い替え促進 による生活者支援

- ・ 省エネ家電購入費補助金
2,100万円



4.その他

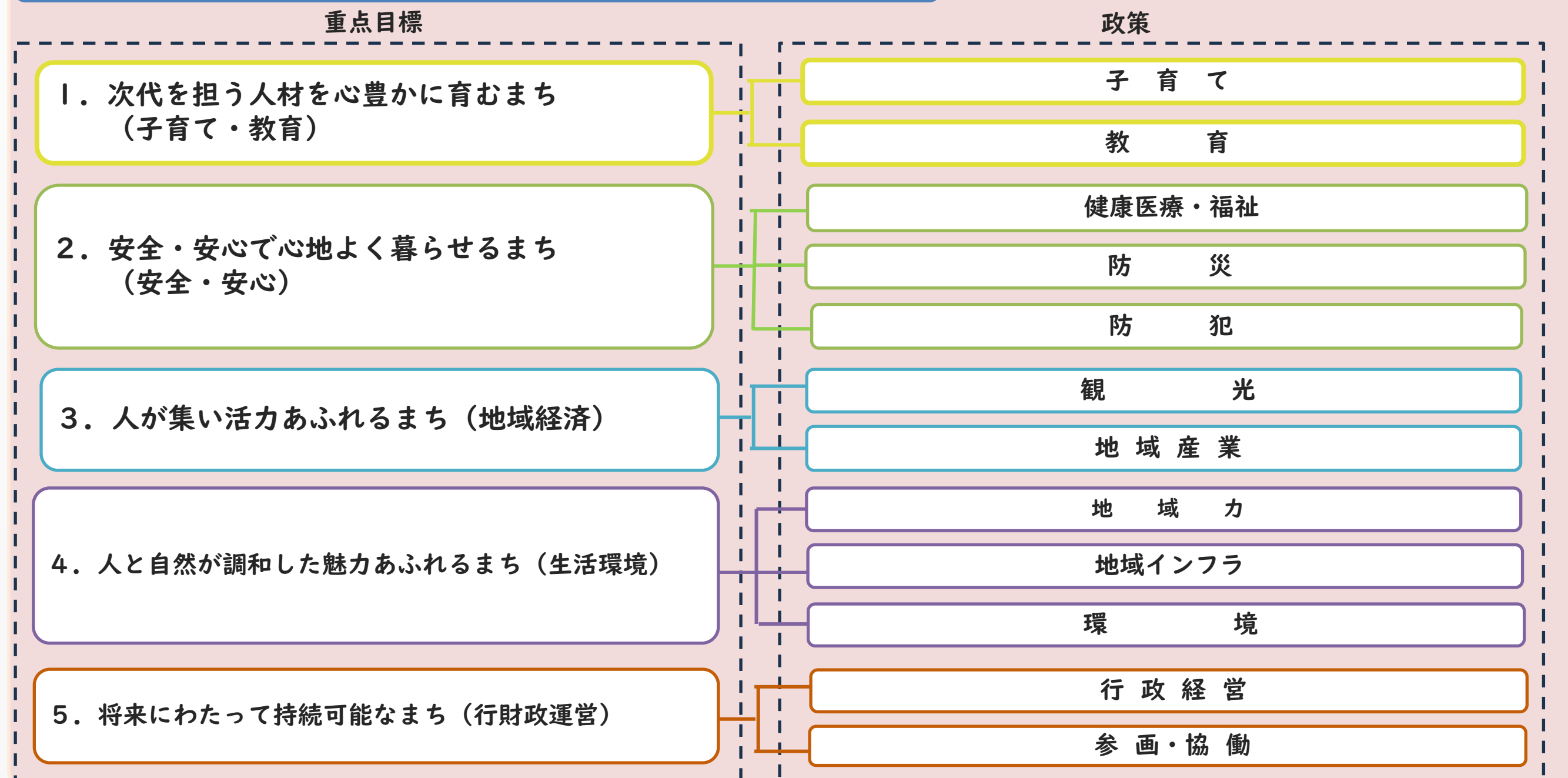
- ・ 公共施設LED化事業 1,870千円



主要事業について

新たに策定する第3次総合計画を着実に進めていくため、各重点目標に沿って行う主要事業をいくつか紹介します。

第3次総合計画の体系



主要事業について

重点目標！

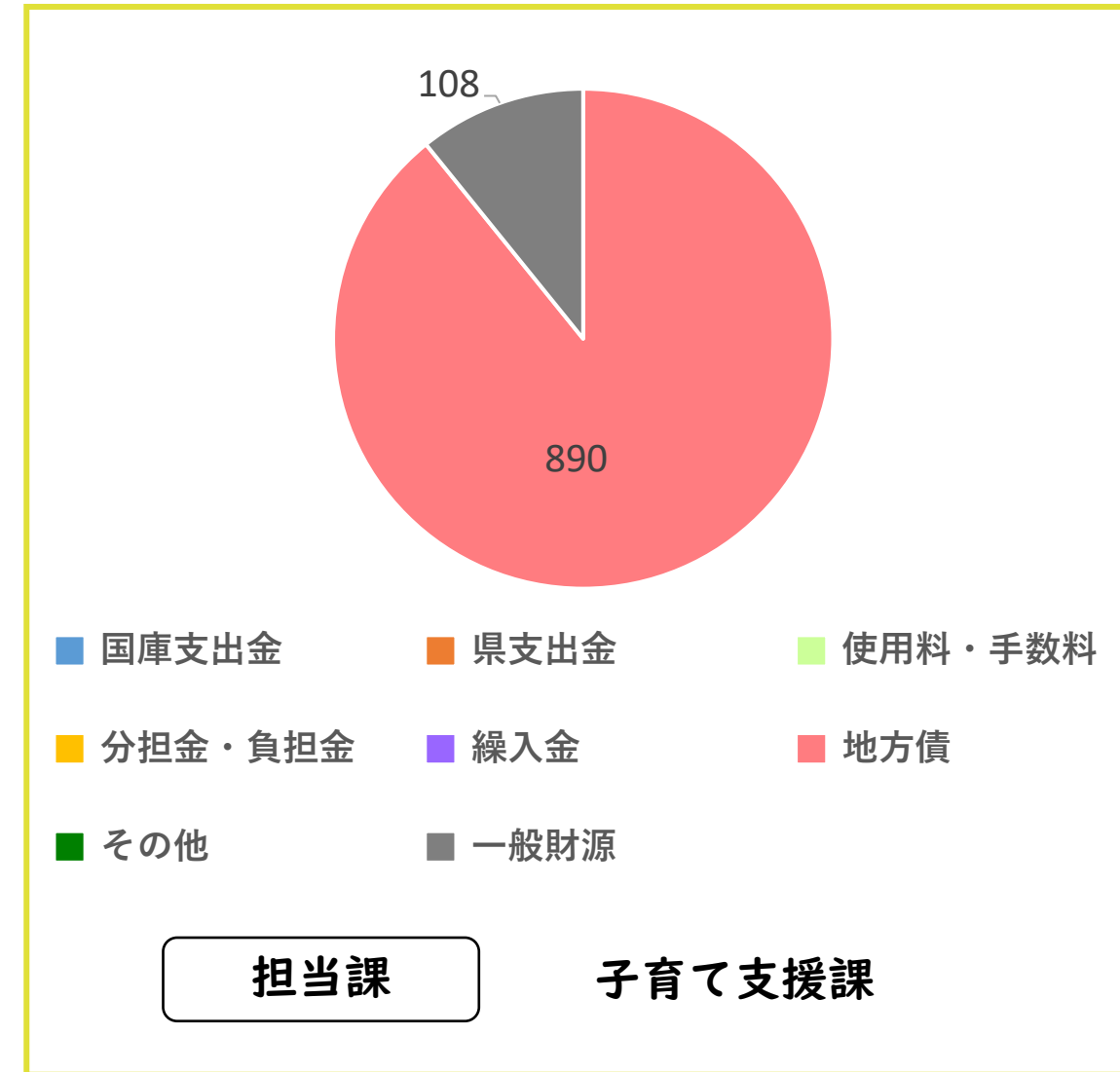
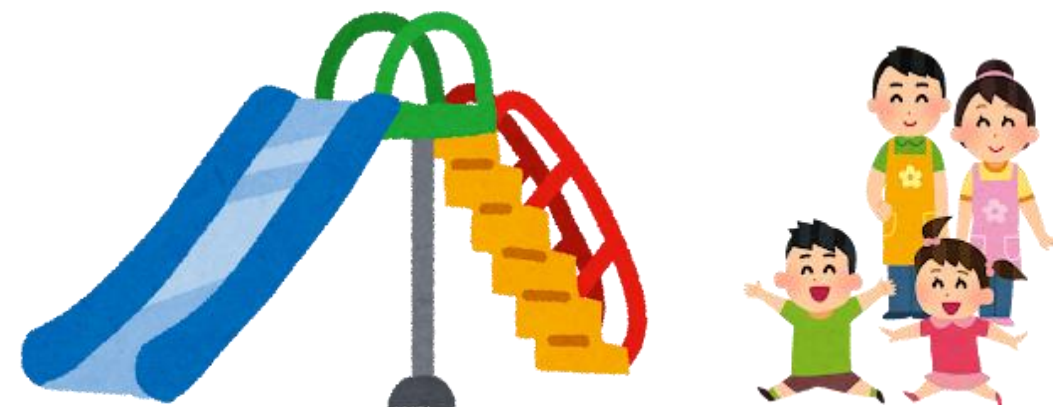
次代を担う人材を心豊かに育むまち（子育て・教育）



子育て施設環境整備事業

事業費 998万円

子ども達の安全性の確保などを図るため、こども・子育て支援事業債を活用し、修善寺東こども園、熊坂こども園へのルーフテントの設置や、熊坂こども園の空調機更新及びトイレの交換を行います。



主要事業について

重点目標！

次代を担う人材を心豊かに育むまち（子育て・教育）



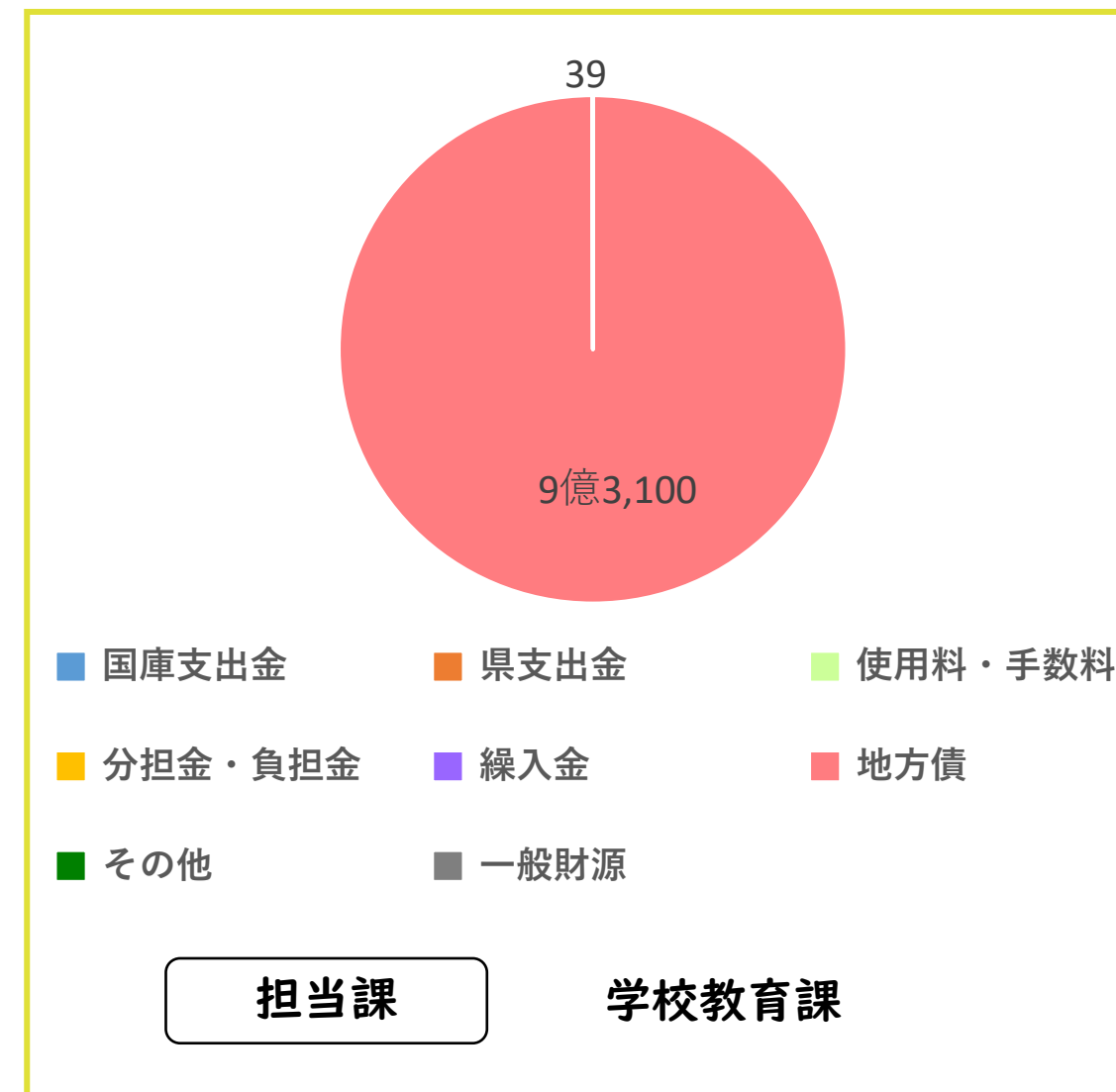
中伊豆小学校移転整備事業

事業費 9億3,139万円

伊豆中学校整備に伴い廃校となる中伊豆中学校の跡地に、中伊豆小学校の移転・建替を行います。



▲新中伊豆小学校 完成イメージ



主要事業について

重点目標！

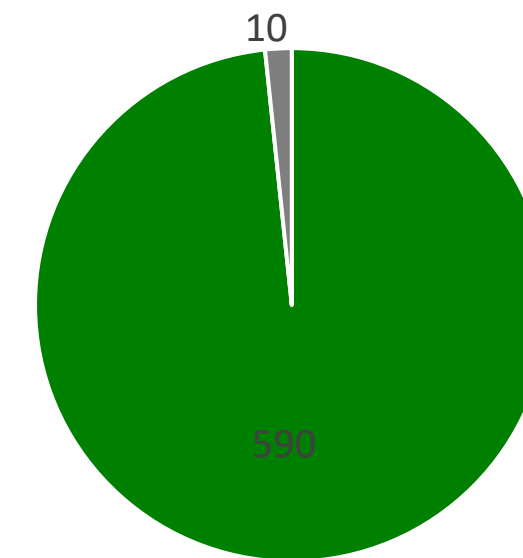
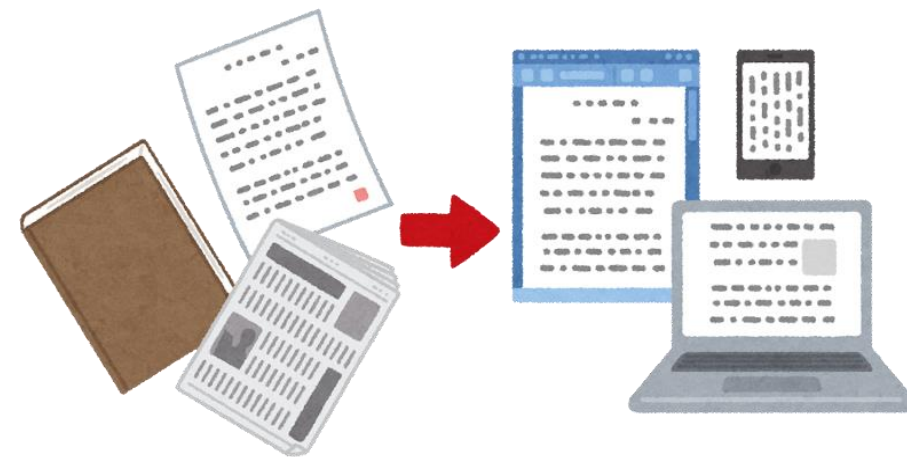
次代を担う人材を心豊かに育むまち（子育て・教育）



デジタルアーカイブ導入事業

事業費 600万円

市内にある貴重な地域資料や災害関連の資料をデジタル化し、資料を参照することによる劣化を防ぐとともに、学校の授業などで資料の活用がしやすい環境を整えます。



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

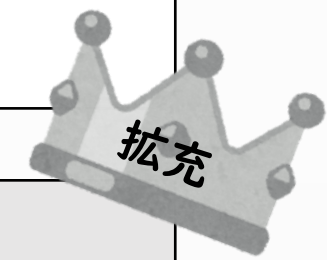
担当課

社会教育課（図書館）

主要事業について

重点目標2

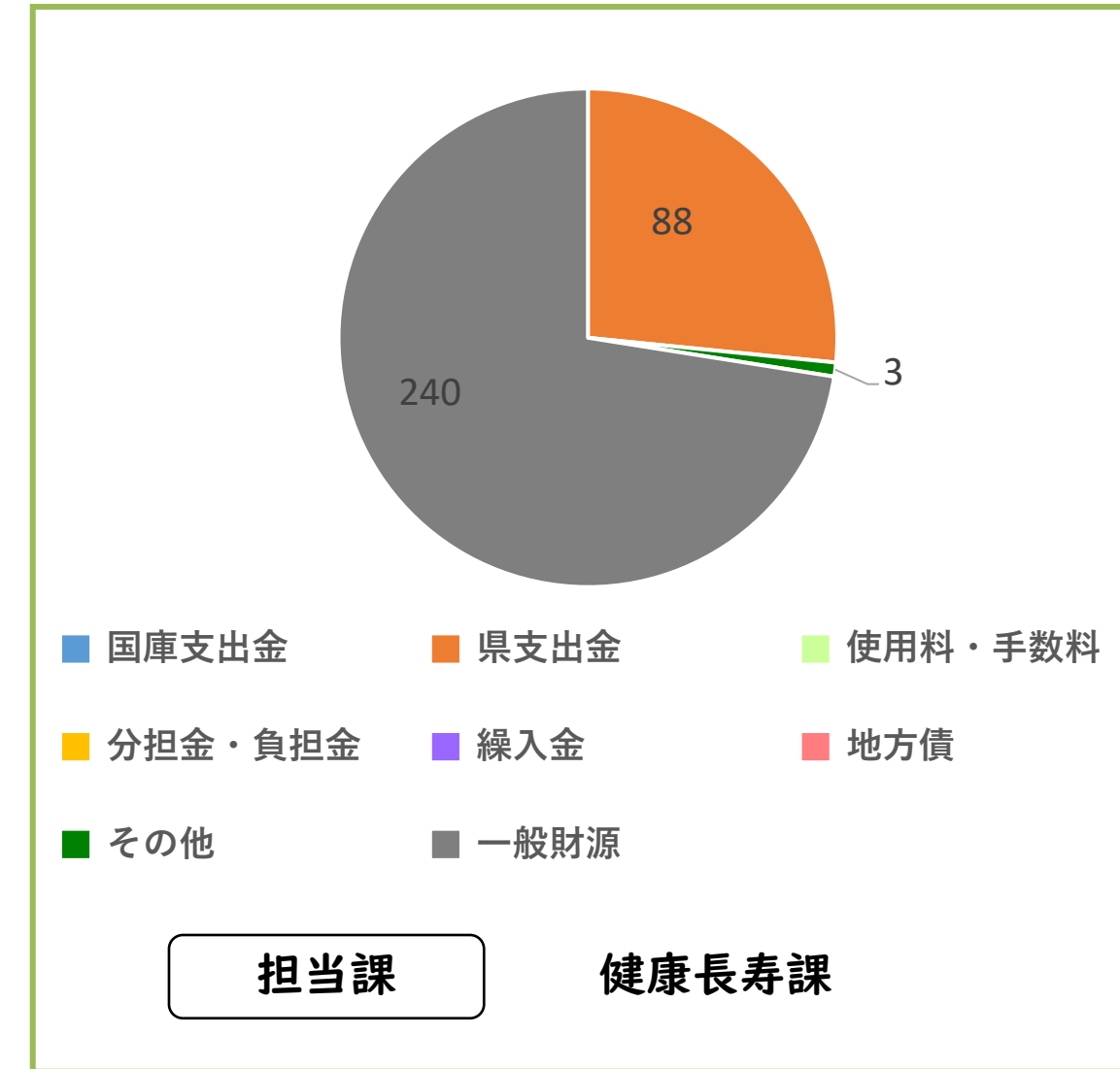
安全・安いで心地よく暮らせるまち（安全・安心）



げんきプロジェクト事業

事業費 331万円

生活習慣病の有病者が多い現状を改善するため、「減塩（げ）」「運動（ん）」「禁煙（き）」のげんきプロジェクトを推進することで、元気な伊豆市の実現を目指します。



主要事業について

重点目標2

安全・安心で心地よく暮らせるまち（安全・安心）



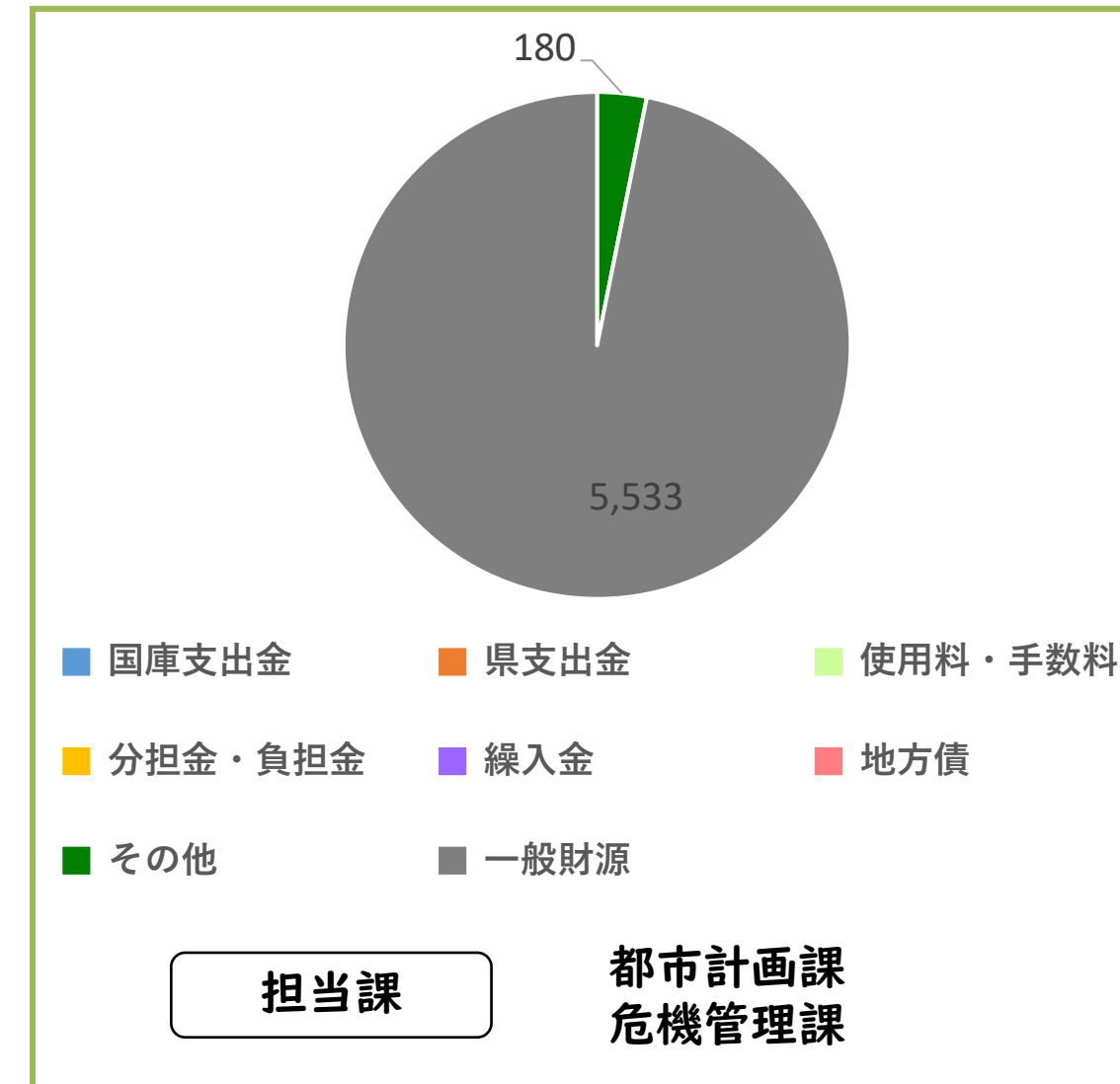
ひなた公園・危機管理センター管理事業

事業費 5,713万円

災害死者ゼロを目指し、日向地区に整備した防災公園「ひなた公園」及び、災害対策拠点「危機管理センター」の維持・管理を行います。



▲整備を進めるひなた公園と危機管理センター



主要事業について

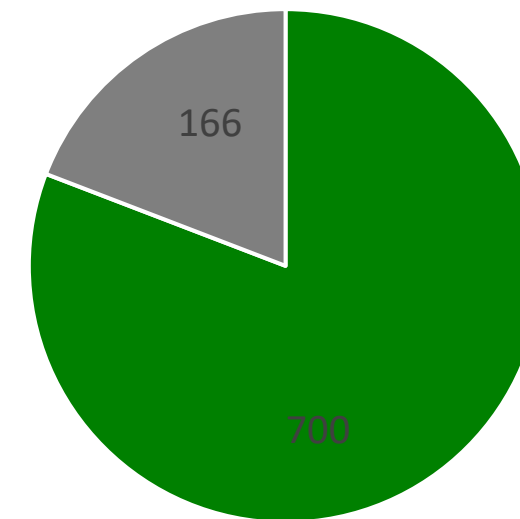
重点目標3

人が集い活力あふれるまち（地域経済）

新たな観光振興財源検討事業

事業費 866万円

観光施設の維持・管理や観光振興の事業を継続して実施するため、新たな税金の導入をはじめとする、観光のための財源確保に向けた制度設計を進めます。



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

観光商工課

主要事業について

重点目標3

人が集い活力あふれるまち（地域経済）

地域おこし協力隊推進事業

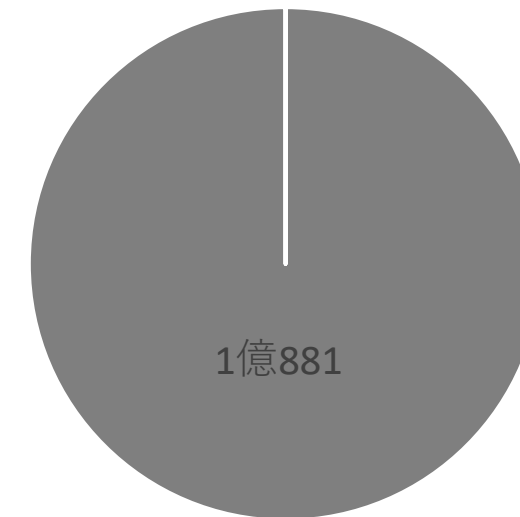
事業費 1億881万円

地域の活性化や産業振興を図るため、地域外の人材を積極的に誘致、「地域おこし協力隊」として任命し、隊員の活動に必要な経費の支援などを行います。

令和8年4月1日時点で、11名の隊員が活動しています。



▲地域おこし協力隊委嘱状交付式の様子



1億881

- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

地域づくり課・農林水産課
観光商工課

主要事業について

重点目標4

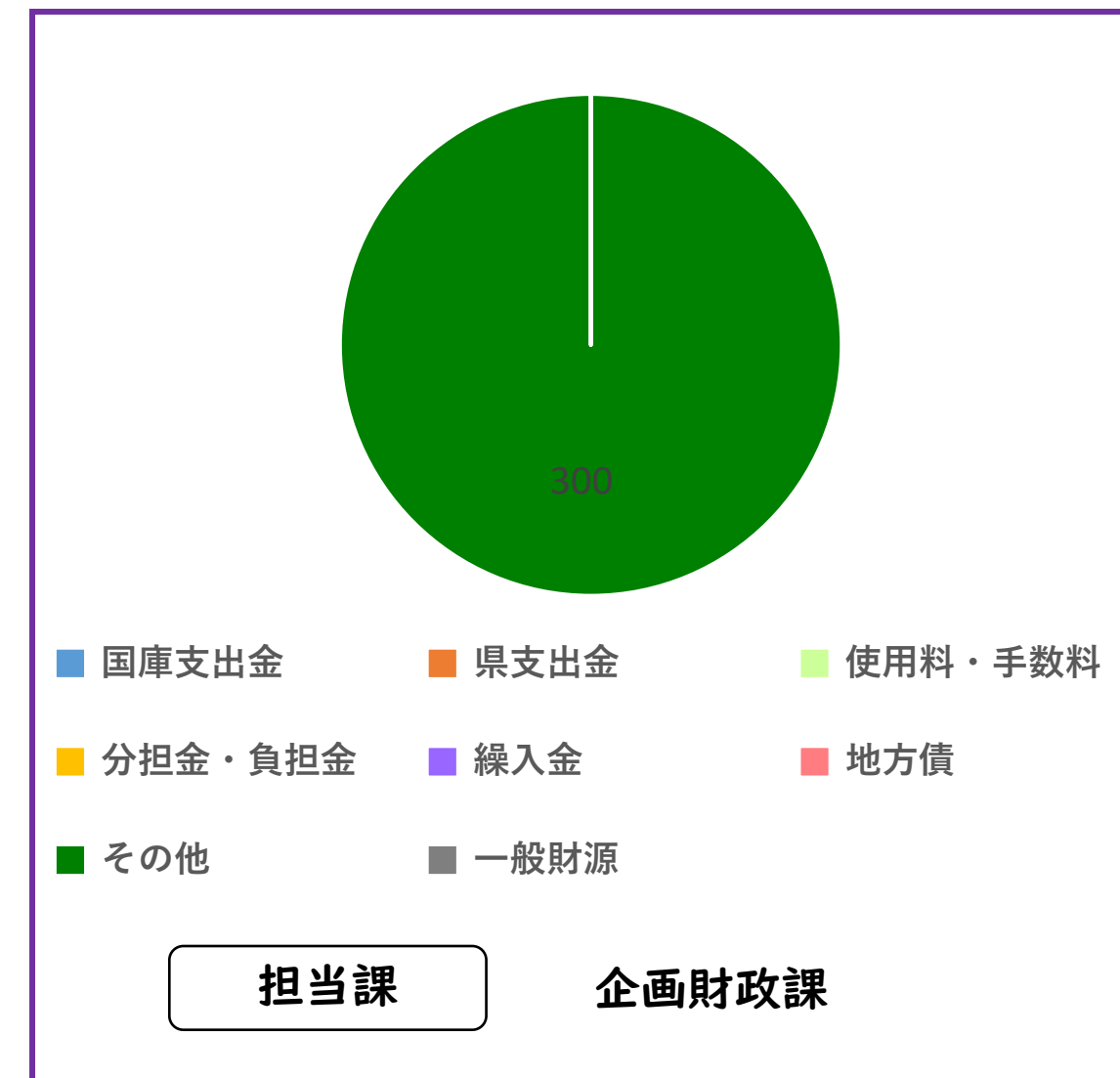
人と自然が調和した魅力あふれるまち（生活環境）



みんなの夢★応援補助金

事業費 300万円

公民が連携した地域課題の解決及び地域活性化を推進するため、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、市内事業者や市民等が提案したプロジェクトに対して補助金を交付します。



主要事業について

重点目標4

人と自然が調和した魅力あふれるまち（生活環境）

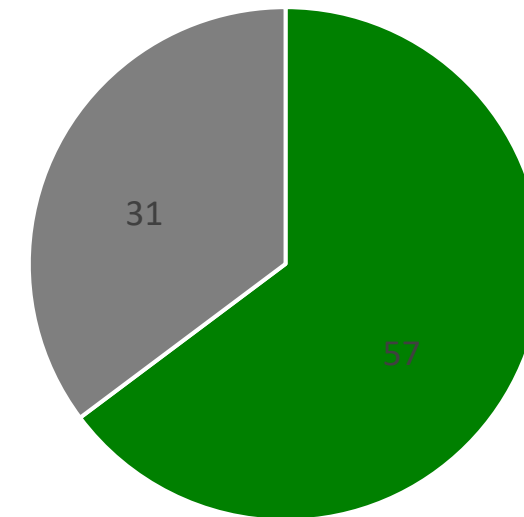
おかえりIzUプロジェクト事業

事業費 88万円

地元愛の醸成及びUターンのきっかけづくりのため、首都圏に居住・勤務する20代～30代の伊豆市出身者をメインターゲットとした交流会を実施します。



▲令和7年度に実施した交流会の様子



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

企画財政課

主要事業について

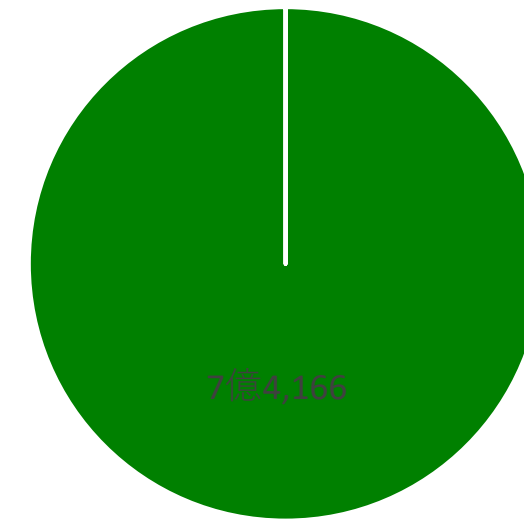
重点目標5

将来にわたって持続可能なまち（行財政運営）

ふるさと納税促進事業

事業費 7億4,166万円

ノウハウを持つ民間事業者に外部委託し、返礼品の新規開拓やウェブサイト上での返礼品プロモーションの強化を行うことで、ふるさと納税寄付額のさらなる増加を図ります。



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

企画財政課

主要事業について

重点目標5

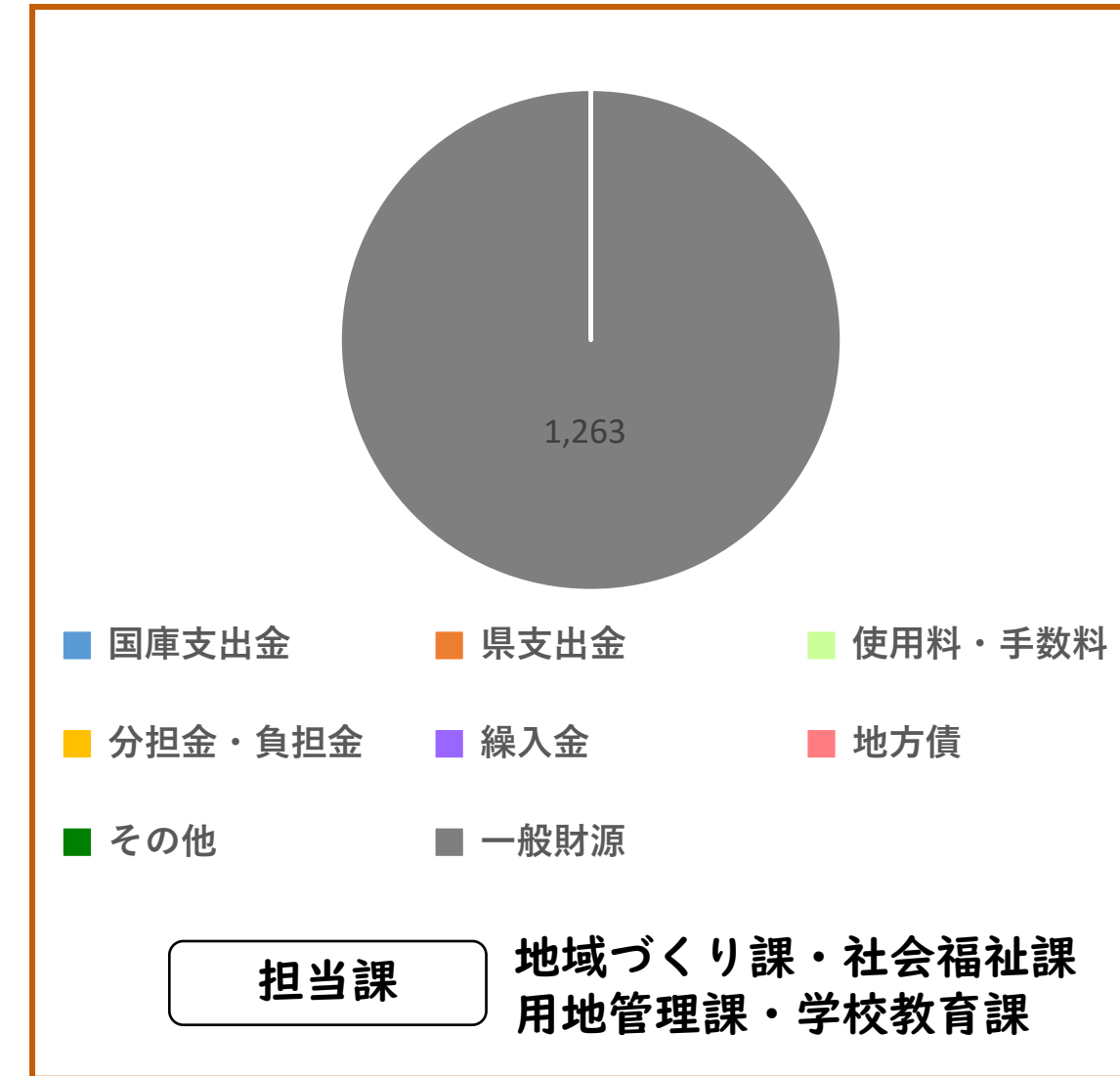
将来にわたって持続可能なまち（行財政運営）



業務効率化事業

事業費 1,263万円

家庭環境調査アプリの導入や、生成AIの職員研修会の実施など、デジタル技術を最大限活用し、市民の利便性向上や行政業務の効率化を図ります。



ご質問などありましたら
お気軽にご連絡ください。

令和8年度伊豆市のわかりやすい予算書

■発行年月日 令和8年3月

■お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ

静岡県伊豆市小立野38番地の2

電話 (0558) 72-9859

FAX (0558) 74-3067